

議会だより

NO.21

 吉野川市



目次

- 代表・一般質問……………P 2
- 議案の審議から……………P12
- 市民のページ・クイズ…P15
- 市民の皆さんへの募集…P16

■発行／吉野川市議会
■住所／〒776-8611
■TEL.(0883) 22-2241

■編集／議会広報特別委員会
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
■FAX.(0883) 22-2242

2010.2.25

質 問

●の質問を中心に取り上げました。

代 表 質 問

① 乗原 五男 議員

- 次代を担う子どもたちの育成について
- 環境を大切にする美しいまちづくりについて
- 地域活性化について
- 行財政基盤の確立について
- 都市計画線引きの見直しについて

② 後藤田 哲夫 議員

- 市内各施設の館長、所長の天下り状況とその予算及び市内既存施設の活用について
- 幼保連携と今後の取り組みについて
- 山川庁舎、川島庁舎の今後の活用について
- 各温泉施設の年間委託料、施設整備費について

③ 高木 純 議員

- 国民健康保険税の減免について
- 川島公民分館について

一 般 質 問

④ 相原 一永 議員

- 子育て支援の充実について
- 障害者計画・障害者福祉計画について
- 廃蛍光灯リサイクル処理について

⑤ 榎納 謙司 議員

- 平成22年度予算編成方針について
- 幼稚園のあり方について
- 市の活性化について

⑥ 工藤 俊夫 議員

- 人権尊重のまちづくりについて

- 社会教育関係を市長部局へ補助執行することについて

○市立幼稚園の再編について

- ポイ捨て等防止に関する条例について

- 県道、市道の竣工予定はどうなっているのか

⑦ 北川 麦 議員

- 庁舎統合における職場環境について
- 吉野川市斎場の広域利用について

⑧ 川村 洋樹 議員

- 鴨島運動場及び吉野川市総合スポーツ運動場の整備について

⑨ 岡田 光男 議員

- 地球温暖化対策について

- 介護保険制度について

⑩ 田村 修司 議員

- 給食費について

- 保育所及び幼稚園の臨時職員について

⑪ 枝澤 幹太 議員

- 市内各施設の指定管理について
- 次代を担う子どもたちの育成について

- 幼稚園あり方検討委員会の検討結果について

- 山川庁舎・川島庁舎の空き庁舎利用と庁舎統合に及ぼす影響について

⑫ 岸田 秀樹 議員

- 危機管理について

- 安全、安心について

⑬ 藤原 一正 議員

- 危機管理対策について

- 政権交代の影響について

代表・一般

ここが聞きたい

12月議会定例会では13名の議員が代表・一般質問を行いました。

代表質問



栗原五男議員
(薫風会)

環境を大切にすまちづくりについて

(質問)

国策としての国の制度を見極めながら進めたい

(答弁)

質問 環境に優しいまちづくりを考えていく上で、LED照明の利用及び、太陽光パネル設置について次の4点伺いたい。
①学校周辺の防犯灯をLED照明に変えるという事だが予算と1基当たりの金額・今後の方向性は。
②一般道にある防犯灯をLED照明に交換の考えは。
③太陽光パネルの小学校への設置について。
④一般住宅に太陽光パネルを設置する時に補助金を出す考えは。

総務部次長 本市では、公共性の高いところ、夜

間でも広く周辺住民が利用する場所・犯罪の発生の恐れのある場所等について要望を聞きながら整備を行っている。

地球温暖化対策、環境対策の取り組みとして、地域グリーン・ニューディール事業を活用し、中学校の通学路のうち学校周辺にある防犯灯をエネルギー効率と耐久性にすぐれたLED照明に交換する。本年度は、事業費150万円で鴨島地域の中学校周辺に38基の実施で1基当たりの新設単価は4万円程度を予定している。その他の箇所については今後検討していく。

教育次長 文部科学省では、経済危機対策の重要

施策に位置づけているスクール・ニューディール構想について、全国の小・中学校を中心に太陽光パネルの設置等を含めた省エネ改修を集中的に進めるとしている。本市では、市内の小・中学校に10キロワットの太陽光パネルを設置し、環境教育の生きた教材として活用することにより、児童・生徒のエネルギー環境問題への関心を高めるものである。設置を予定している18校のうち13校は10月26日に設計業務の契約を行い、平成22年3月に5校は耐震改修にあわせて設置工事を行う予定である。

環境局長 市としては現在、太陽光パネルの一般

住宅への設置の補助制度はないが、国策としての国の進み具合を見極めながら進めていきたい。

【その他の質問】

質問 新型インフルエ

象者は。

答弁 1歳から中学生まで。

質問 幼稚園の今後のあり方は。

答弁 幼稚園あり方検討委員会の提言を大切に

質問 ブランド認証制度について。

答弁 重点的に支援を行う。

質問 行財政基盤の確立について。

答弁 2次計画への位置づけを検討したい。

質問 都市計画線引きの見直しについて。

答弁 東部都市計画の見直しに基づき充分精査し、検討したい。



LEDの防犯灯設置予定
(鴨島第一中学校付近)



後藤田 哲 夫 議員
(麻植会)

川島公民分館の今後の対応は

(質問)

地元の皆様の理解を得たい

(答弁)

質問 市内各施設の館長、所長の天下り状況及び予算執行状況、活用について伺う。

また、ワークシェアリング並びに、川島公民分館30館の今後の対応、吉野川市農村環境改善センターを公民館としての活用等について伺う。

理解をいただけるよう努力する必要があります、当分の間、現況のまましていきたい。

市長 まだまだ問題があると認識しており、今後慎重に地元の皆様の理解を得るよう努力したい。

総務部長 天下りについては、現下の極めて厳しい経済環境から、仕事を分け合う、人材を幅広く集める視点も重要と考え、今後嘱託職員の交代が必要な時、位置づけを明確にした上で、ふさわしい人材を幅広く検討していきたい。

副市長 川島公民分館については、地元の方のご



高木 純 議員
(日本共産党)

不況対策として国保税の減免を

(質問)

国保税減免取扱要綱を早急に整備したい

(答弁)

質問 本市国民健康保険条例第24条に保険税の減免条項がある。減免の要件として、一つには、「天災その他特別な事情がある場合において減免を必要とする者」。二つめに「貧困により生活のため公私の扶助を受ける者」となっている。

ところが、本市には貧困あるいは特別な事情に於いての明確な判断基準がない。だから失業したり売り上げが極端に減少した市民からの減免の問い合わせに対し、明確に答えることができない。阿波市では、判断基準を定めた施行規則が作られている。例えば、前年所得が300万円以下

規則等を整備して、不況であえぐ市民に対し、国保税の減免基準を示すべきだ。

市民部長 現下の経済不況で図らずも離職となった国保被保険者の減免環

境を整えるため、平成22年度の施行を目指し整備したい。また、その制度の周知については、保険証の交付時に文書で知らせるとともに、市のホームページや広報誌にも掲載したい。





川島町東児島公民分館

【その他の質問】

質問 庁舎統合に伴う支所機能の充実と、山川、川島庁舎の幼保連携型施設を考えるべきでないか。また、統合によるスクールバスの運用は。

答 弁 保育所・幼稚園の再編に当たっては、安心安全で便利な場所として川島庁舎、山川庁舎を活用することを念頭に検討をしていく。スクールバスについても十分検討をしていく。

一般質問



相原 一 永 議員

廃蛍光灯リサイクル処理を 県内業者でできないか

(質問)

競争入札により委託業者を決定

(答弁)

質問 私たちの生活に欠かせない蛍光灯には、水銀（金属水銀）が封入されている。この蛍光灯を割ると、水銀ガスが空气中に飛散し、大気、土壌、水質が汚染される。現在、毎年約3tの水銀が環境中に放出されており、第二の水俣病を引き起こす事が懸念されている。

環境局長 現在使用済みの蛍光灯の処理については、西環境センターでは各庁舎及び集積所等を含む拠点回収をしている。収集した蛍光灯は川島リサイクルセンターに設置したコンテナに破損したものと同様に破損して保管している。破損していない蛍

光管は委託業者に随時搬出している。破損した蛍光灯は、委託業者に引き渡して、埋立ごみとして処理している。鴨島環境センターは、月一回不燃ごみとして収集し、最終処分場で埋立処理をしている。

質問 民間のバス路線の維持確保について。

【その他の質問】

答 弁 バス路線の維持及びノンステップバスへの切りかえ等に働きかけたい。

質問 乳幼児医療費助成を中学3年生卒業まで拡大してはどうか。

答 弁 県の動向や財政状況を照らし今後の課題としていきたい。



西環境センター管内モデル集積所



榎 納 謙 司 議員

幼稚園のあり方について

(質問)

適正な規模に再編が必要不可欠である

(答弁)

質問 子どもの成長に一番大事な時期である、幼稚園については、幼稚園あり方検討委員会において、それぞれの立場から多くの意見が出されている。

教育委員会としてはどのような幼稚園が望ましいと考えているか。また、専任園長にすべきと思うがその考えを伺う。

教育次長 幼児教育の充実、多様化する保護者のニーズの実現、教職員の健康保持と質の向上を図ることができ組織体制づくりのため、適正な規模に再編することは必要不可欠と考えている。園長のリーダーシップ

により園の運営を進めるためには、幼児教育の知識、経験を備えた専任園長が好ましいが、職員数の上からも難しいと思われるので、再編を行った後に専任園長を検討したいと考えている。

再問 園長の立場でなければ見えない園児の心と行動を感じ見ることにより、適切な指導や保護者に対しての子育て指導ができる。教職員は幼児教育に専念でき、そのことが、小中学校での心の問題の減少と学力向上へと結びつく。

教職員2人の幼稚園に園長を置かないとのことだが、2園〜3園を兼任

する方法であれば平成22年度から実施できると考えるが見解を伺う。

教育長 今後、意見を視野に入れ、検討したい。

「その他の質問」

質問 平成22年度の重点予算と主な削減は。

答 弁 重点施策は、消防本部庁舎・給食センター・市役所庁舎等の建設。

また、主な削減は、行財政改革により削減。

質問 「吉野川市の歌」を作っては。

答 弁 合併10周年記念事業として検討。



おやつ時間(鴨島幼稚園)



北 川 麦 議員

市火葬場の広域利用は

(質問)

今後の検討課題としたい

(答弁)

質問 平成21年度に入り、石井町から本市の火葬場を石井町民の火葬場として使用させてほしい旨の申し入れがあり、担当者レベルで話し合いがもたれたと聞いているが、その経緯と協議の結果について伺いたい。

市民部長 石井町側から数回電話連絡があり、去る10月15日に福祉生活課長が来庁し、事務レベルで話し合いをしたが、現在、本市において、吉野川市斎場と阿北火葬場を利用しての現状を踏まえ、市民の利便性を考慮しながら関係機関と協議検討を図っていききたい。

再問 斎場利用の阿波市との問題は近々解決す

ると考えられる。また、吉野川市斎場の炉も予備炉を利用すると増炉も可能だ。施設の増設は、当時最新式のを備えており無煙無臭で、地元の方たちの理解も誠意を持って臨めば異論は少ないのではないかと。広域行政は経費削減だけでなく、近隣市町が手を携えて住民の要望に答えることにあるのではないかと。石井町は火葬場問題で苦勞し、私たち市民は、飯尾川を始めとする河川の水害問題で悩んでいる。石井町の火葬場使用の問題を真摯に受け止め議論することで、本市の水害問題も解決の兆しが見えてくると考えるが。

副市長 まず阿波市との



工藤 俊夫 議員

ポイ捨て防止条例に罰則規定を

(質問)

検討課題として受けとめる

(答弁)

質問 本市の場合、ポイ捨て条例は平成16年に条例化されているが、この条例は十分な議論、認識すらないまま現在に至っている。

①ごみ散乱及び落書き防止についての啓発及び広報活動について。
②ポイ捨て空き缶等の再資源化促進について。
③環境パトロールはどのような実践体制を行っているのか。
④その他環境美化に必要なと認める事項について。以上伺う。

環境局長 ①この問題は、市民一人ひとりのモラルの向上が何よりも重要な課題であり、本市においては、広報誌などで不法投棄等防止について

県も、アドプト事業として、年間を通じ清掃活動を行っている。

再問 地域環境や教育にも悪影響を与える条例違反者には、当然その責任を負うべきであり、条例の中に罰則規定を追加してはどうか。

市長 各自自治体により特性等違いが多分であり、ややなじみにくい。今後検討課題として受け止める。

質問 「吉野川市人権尊重のまち宣言」をしては。

答弁 先進地の調査研

究を指示している。

質問 社会教育の分野を市長部局に移管できないか。

答弁 今後検討していく。

質問 幼稚園再編の件について。

答弁 園舎の建築年度や耐震性を考慮し、協議する。

質問 県道、都市計画道路の3線の竣工はいつ頃か。

答弁 早期供用開始できるように要望する。



ポイ捨てされたごみ

火葬場使用に関する問題を整理することが大事だと思っており、石井町のことについてはその後の問題だと考えている。今、直ちに石井町の使用については考えていません。

再々問 阿波市との利用の問題が解消してから考えるという答弁は納得がいかない。幾つもの問題を並行して考えていくのが理事者の行政手腕だと思ふ。石井町は火葬場で十数年前から困っている。この問題を本市が前



吉野川市斎場

向きに検討することで、飯尾川を中心とした水の問題も解決の糸口が見出せるかもしれない。石井町にある浮子堤防や上浦の布団かこの撤去も進展する可能性も大きくなる。そうすると、国・県にも飯尾川改修に積極的に動いてもらえる。近隣市町との関係はある意味で「遠い親せきより近くの他人」ではないのか。前向きに検討する必要があるのではないか。

市長 検討したい。



川村洋樹 議員

運動場の落雷対策は

(質問)

国・県と相談を行い可能な範囲で対応

(答弁)

質問 高槻市で平成14年8月サッカー部の試合中の落雷で障害を負った生徒に対し、試合を開いた高槻市体育協会と高校に3億円の支払いを命じた判例があるが、本市が管理している鴨島運動場・吉野川市総合スポーツ運動場は現在、落雷避雷においての対処、対策はどのように講じているのか。

教育次長

集中豪雨、落雷等自然災害による事故防止については、選手等の健康、安全、生命を最優先し、適切な判断をすることが重大事故の未然防止となると考えている。

再問

本市の両運動場

に関しては、落雷時などに避難場所が無いと思われる。両運動場の利用状況として、中学校のクラブ活動及び市の総合体育大会はもとより、市内の少年サッカーチームの大会においても市内、県内に限らず、県外から交流も兼ねた大規模な大会も行われている。市が管理を行っている以上、できる限りの対策を講じ、避難場所となる物を設置する義務があると思われるが。

教育次長

落雷避難場所の設置については、鴨島運動場、吉野川市総合スポーツ運動場は両施設とも河川敷であり、河川整備許可を受けての利用となつている。落雷避難所



岡田光男 議員

介護保険の利用料・保険料の減免は

(質問)

慎重な検討が必要

(答弁)

質問 介護保険制度ができて10年が来るが、この制度は利用料が払えない人が利用料を払える人のために介護保険料を払っているといっても過言ではない。

介護保険料も年金が年額18万円未満の人でも5万9700円も払わなければならない。また、所得区分も上下の開きが3倍しかなく低所得者ほど負担が重くなっている。低所得者や生活保護基準以下の人には、利用料や保険料の減額・免除の制度をすべきと考えるが。

健康福祉部長

保険料を減免すればその分他の被保険者が負担することに

ある。施設入所の空きを待っている人もいると聞くと、認知症対応型のグループホームの整備が必要でないか。

市長 今後公費負担の増、新たな利用料減免については、県及び全国市長会の議題に挙げ、国に要望できるように対処したい。

グループホームについては、待機者や財政状況のバランスを見据え判断したい。

【その他の質問】

質問 家庭用太陽光発電パネルに補助は。

答弁 国の動向を見据えていきたい。

再問

この保険制度は利用すればするほど、また高齢化が進むほどに保険料が上がる仕組みとなっている。それをさせないためには今の国の負担25%を少なくとも30%にする必要がある。国に対して国庫負担を増やすよう要請すべきでないか。

また、高齢化が進む中で認知症になる人も増え、家族介護にも限界が



市内のグループホーム



サッカーを楽しむ子どもたち

の設置については滞水時には工作物の撤去が義務づけられており、管理上非常に厳しい条件下にあると考える。

再々問 鴨島運動場は河川敷で理解できるが、吉野川市総合スポーツ運動場に関しては、野球場にはベンチがあり、サッカー場にはベンチがない。野球場にベンチができて、サッカー場にベンチ的な避難所ができないという解釈は理解できないか。

い。サッカー協会等からの落雷避雷等の指導方法も出ているが、今の状況では限度があり本市においても、高槻市のような事例が起りかねない。縦割り行政の中で縛りもあるが、国並びに県と協議を行い早期に対応していくべきではないか。

教育次長 吉野川市総合スポーツ運動場については、国・県と相談を行い、可能な範囲で対処していく。



田村修司 議員

保育所・幼稚園の臨時職員の採用について

(質問)

状況を見極めながら検討する

(答弁)

質問 本市の保育所・幼稚園では臨時職員が1年で入れかわるので、子どもたちにとって馴染んだ先生が去り、翌年度新たな先生が来るといふ好ましくない事態を繰り返していると感じている。直近3年間の保育所、幼稚園の臨時職員数と1年限りという雇用期間を更新して長期間にわたる雇用をすることはできないか、市の見解を伺う。

おいて対応しているところである。なお、3年間で保育所167名、幼稚園57名の臨時職員を雇用している。

再問 臨時職員の採用措置は法令遵守されているということで、公平性の観点からも多くの人に機会が与えられるようにすべきであるのも理解できる。しかし、雇用される側にとつては1年限りであり、安心して雇用してもらえないという不安がある。また、臨時職員にもいろいろな職種があると思うが、物を扱う職と人と接する職では雇用条件はおのずと違ってくるのではないか。

子どもにとつても同じ保育士に長い期間続けて

保育してもらえない、馴染んだ時にいなくなるというデメリットは大きい。一方、阿波市では、保育士は1年契約を更新しながら数年にわたって継続雇用されているようだ。阿波市では市外からの臨時雇用者は、36名、そのうち23名が吉野川市民とのこと。このような現実についてどう考えるか。

総務部次長 保育所、幼稚園の臨時職員については、資格職であるので、特別な事情を市長が認めた場合等の規程を運用するなどして雇用の対応をしている。

再々問 単純作業を担う臨時職員は、半年を2回、1年限りという原則のもと任用されて問題ないと思うが、保育士、幼稚園教諭など専門性があり個人の能力差が顕著に表れる職種に関してはもう少し柔軟な対応をすべきではないか。

また、平成19年から施行された任期付職員採用法に規定される臨時職員

とは、高度な専門性のある職について5年を限度に契約されるものとなっている。この任期付職員に保育所・幼稚園の臨時職員を該当させるということは、できないか。

総務部次長 現在この制度について、本市では制度化していない。というのも、要件が限定され活用しづらい状況があると報告されている。今後の状況を見極めながら検討していく。

【その他の質問】

質問 給食費の滞納について。

教育次長 学校現場では3か月以上未納の家庭は14件、合計23万円となっている。



楽しく遊ぶ園児



枝澤 幹 太 議員

指定管理に再応募がなかった理由は

(質問)

指定管理基準を必要最低限
まで見直したため

(答弁)

質問 産業経済部所管の指定管理施設を5か所公募したが、ふいご温泉と川島城の2か所に応募がなかった。過去の管理委託制度に変わって幅広く民間の事業者やNPO法人等の経営感覚で管理代行させるメリットがそれでは活かせることができない。その様な結果を招いた原因、問題点について伺う。

産業経済部長 2施設の公募内容として、ふいご温泉は宿泊棟及び風呂棟の管理運営と利用者の健康増進に努めること。川島城は城本体及びテニスコートの管理運営と利用者の健康増進に努

管理基準を、必要最小、必要最低限まで見直し公募を行ったことが応募のなかった理由と考えられる。

再問 指定管理料の設定については一貫性がなく不自然でないか。

産業経済部長 過去の実績、市が実施した修繕料、売り上げの状況、利用者の状況等を勘案し、必要最小限の管理料を設定し、基準額としたものであるが、指定業者にとつては大変厳しい設定であったと考えられる。

再々問 今後の施設運営について具体的にどうするののか。

産業経済部長 ふいご温泉は年間約7万人の利用があり、指定管理から市直営にすると、営業時間、利用料金、物品の販売等に関し条例遵守での営業となり、早朝、夜間営業が現状どおり行えないなど、大きな影響がでると考えられる。

そのため民間のノウハ

ウを生かした運営ができるよう指定管理の再継続をしたいと考えている。川島城及びテニスコートについては、条例遵守で営業する場合でも利用者に大きな影響は出ないと考えられる。来年度は再公募せず資料館や吉野川市特産品ブランドの展示ギャラリーとしての活用なども考えている。また、市内4つの温泉施設のうち方も状況を分析、精査し、将来的には売却も含めた検討をせざるを得ない時期にきていると認識している。



迷えるふいご温泉

飯尾川の改修状況は

(質問)

本市部分の改修については
時間がかかる

(答弁)



藤原 一 正 議員

質問 飯尾川の改修について、今後どのように進んでいくのか。また、要望活動の成果について伺う。

建設部長 飯尾川の河川改修事業については、昭和30年から本格的に始まり、現在も下流部から整備を進めている状況なので、本市部分の河川改修までには、まだまだ時間を要する。

また、要望については、飯尾川、ほたる川、岩屋谷川の河川改修や予算要望を行い、直接窮状を伝え、関係者の方から理解を得たので、今後の事業推進に期待できるものと確信している。

再問 都市基盤整備事業のモデル事業や総合流域防災事業等、いろいろな補助事業を使えば、本市部分の改修についても可能ではないのか伺う。

一括交付金により、どういったまちづくりをするのかは地方の役割であるため、このことについても考えたほうがよいのではないかと。

また、職員の出張旅費を削減してきた経緯があるが、対応できるような事業の協議をしてもらうためにも、出張旅費の予算づけをしていただきたいと思うが。

建設部長 市民が一日も早く安心して生活できる



岸田 秀樹 議員

公平なごみ収集は

(質問)

快適な生活環境と住民サービスの観点から大変重要である

(答弁)

質問 鴨島町ではもやせるごみの収集日がA地区では月曜日と木曜日、B地区では火曜日と金曜日の収集となっている。特にA地区での収集日である月曜日は、振り替え休日になる事も多く、平成22年度分だけを見ても14日ある。そのうち5日は収集が行われる予定だが、残り9日は収集作業が行われない。他の市では休日に関係なく収集業務を行っている。本市の場合は、搬入する焼却施設が月曜日から土曜日まで稼働している状況であるので、A地区についても休日に収集業務をする方向で検討できないか。

環境局長 地域環境の美化、住民サービスの観点からも、可能な限りごみ収集については、積極的に収集業務を進めていくべきだが、全ての休日に収集を行うとすれば、当然予算的なこと、また職員の業務負担も大きく影響するものと考えられるので、各関係部署とも十分協議をした上で、住民サービスの向上に努めていきたい。

再問 担当職員の負担も大きく、労使交渉も必要であり、特に予算も必要になってくるが、本市の場合は指定ごみ袋を市民が購入する有料制であるので、ごみ袋の売り上



ごみ収集所に集められたもやせるごみ

げ利益を職員の休日出勤手当に充てることは可能ではないか。
毎週2回のもやせるごみの日があれば、市民は安心してごみを出すことができる。そのような前向きな姿勢が必要ではないか。

市長 快適な生活環境保全と住民サービスの観点からも、大変重要なことであるので、関係部署との協議が整い次第、早い段階で住民サービスができるように努めていきたい。

[その他の質問]

質問 名水百選の江川の復活は。

答弁 色々な手だてをしてきたが、思うような結果が出ていないので、十分な検討をしていきたい。

質問 機能別消防団の設立に向けての進捗状況は。

答弁 4月に設立の予定で、条例の改正・要綱の整備等に努めている。

市長 一括交付金の使用環境を整えるために、今後各種事業を調査研究し、市に合った事業があれば実施していきたいと考えている。

市長 一括交付金の使

用方法等を十分に検討して対処していきたいと考えている。
職員の出張については、要望時に随行しているので、理解してほしい。



改修を待つ飯尾川

平成21年12月議会定例会

議案の審議から

日程：平成21年11月30日～12月18日

12月定例会では、条例関係案4件、予算案5件、その他16件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

産業建設常任委員会

議第75号平成21年度吉野川市一般会計
補正予算第4号について

質問 公共土木施設災害復旧事業で、24か所の事業箇所があるが、今後の予定について伺う。

答弁 11月末に査定が終わっており、この補正予算が可決となれば、1月中旬頃には、早急に入札にかかりたい。

- ・議第86号ヘルスランド美郷の指定管理者の指定について
- ・議第87号吉野川市美郷物産館の指定管理者の指定について
- ・議第88号江川・鴨島公園の指定管理者の指定について

質問 指定管理料は前回と同じなのか。また、江川・鴨島公園の指定管理団体は、前回と同じところなのか。

470万円から460万円になっている。

質問 江川・鴨島公園の指定管理料をなぜ470万円から460万円に減額したのか。

質問 江川エコフレンドが、江川・鴨島公園の管理をする上でのノウハウについて、これから培っていくのか、すでに身につけているのか、どちらなのか。

質問 指定管理業務の中には、清掃以外にも設備の管理など技術的なものも必要になるが、その部分はどうか。

答弁 園内の剪定・電気設備・機械設備等の技術経費等を、指定管理料の算定基準の中に入れている。

答弁 ヘルスランド美郷の指定管理料は800万円。吉野川市美郷物産館の指定管理料は200万円に変更なし。江川・鴨島公園の指定管理業者は、前回と替わっており、指定管理料は、

答弁 江川・鴨島公園の指定管理料の積算基準では470万円であったが、江川エコフレンドから460万円応募があったためである。

答弁 江川エコフレンドは、江川及びその周辺の清掃作業も行っており、江川・鴨島公園の管理は大丈夫である。

◇以上異議なしで可決



指定管理団体が管理している鴨島公園

文教厚生常任委員会

- ・議第79号吉野川市飯尾敷地コミュニティセンターの指定管理者の指定について
- ・議第80号吉野川市アメニティセンターの指定管理者の指定について

質問 指定管理の目的に対する成果はどの程度あったのか。

活力を導入することにより、住民サービスの向上や経費の節減等を図るために改正された。

答弁 平成15年の自治法の一部が、多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応するために、公の施設の管理に民間の

アメニティセンターでは、指定管理となつてから需用費や委託料関係で約300万円の軽減が図られている。

- ・議第89号財産の取得について（校務用パソコン等機器）
- ・議第90号財産の取得について（デジタルテレビ）

質問 購入のデジタルテレビは、50型で大きすぎると思うが、学校現場と協議したのか。また耐震に対する問題については考えているのか。

答弁 購入にあたり、

学校との説明会や選定委員会と協議を行った。大きすぎるという意見もあったが、子どもたちが見やすい画面であることと、将来的に電子黒板として活用できるといふことで50型デジタルテレビに決定した。

また、耐震については転倒防止機能を備えている。

質問 経済危機対策事業の予算が1億2500万円あり、今回購入のテレビ・パソコンのほか、今後購入予定の電子黒板機能付きテレビで約

6000万円程度となり、6500万円余る計算となる。余った予算は市で使えるのか。

答弁 請差が発生した分については、市で有効利用していきたい。

◇異議なしで可と決定



納入される50型デジタルテレビ



総務常任委員会

- ・議第75号平成21年度吉野川市一般会計補正予算第4号について

○市民部関係の主な補正予算の内容

吉野川市ごみ減量化緊急行動計画の生ごみ対策の普及促進行動により減量化をいっそう推進するため、生ごみ堆肥化容器、設置型コンポスト

10000円の制度で、ごみ減量化対策の一環として新設したほか、8月の災害時に粗大ごみ処理費の不足額で440万円の計上、市内の墓地4か所における災害復旧費2080万円などである。



災害に遭った墓地



家庭用生ごみコンポスト

○総務部関係の主な
補正予算の内容

庁舎統合計画に伴う、
用地鑑定料及び調査業務
委託料で141万8000
円、中学校通学路周辺
の防犯灯をLED防犯
灯に更新する経費とし
て150万円で、38基程
度の更新を予定している
等。

○防災対策課関係

徳島中央広域連合消防
庁舎建設にかかる分賦
金6620万2000
円増額補正、消防車両
の購入費では請差分の
3390万円を減額補正
した。

◇異議なしで可と決定

防災特別委員会

質問 各河川の排水機
場の稼働状況の情報提供
を行う場合において、必
ず稼働しなければなら
ない場合と自然放流だけ
で十分な場合があるが、現
在、稼働していないとい
うだけの情報を流せば、
市民は誤解をする可能性
があると思うが。

答弁 吉野川の水位が
低い場合には、大雨時に
おいても、自然放流のほ
うが効果を発揮するの
で、稼働した時点で、情

報提供をするのが、一番
でないかと考えるが、誤
解を招く可能性もあり、
市民の方々に理解をして
もらえるよう検討してい
きたい。

質問 災害時には、市
のホームページを災害バ
ージョンに変更するよう
にはどうか。

答弁 平成22年度中に
市のホームページを更新
するので、その際には、
バナー対応による計画を

考えている。

質問 市民から災害時
の各地域の状況を、携帯
電話等による写真や動画
での情報提供を呼びか
け、災害対策本部へ送信
された画像等をホームペ
ージに掲載し、市民への
情報伝達手段の一つとし
て活用してはどうか。

答弁 情報収集・情報
伝達の手段としては、可
能であると考える。実務
的な部分を協議して、活

用できるように取り組ん
でいきたい。

質問 職員初動マニユ
アルの中に、災害対策支
部から自主防災組織の代
表者に対して連絡をする
とあるが、全ての自主防
災組織の代表者に連絡を
するのか。

答弁 全ての自主防災
組織に対して連絡を行
う。台風18号の際にも、
全ての自主防災組織に対
して行っている。



新設された排水機場(川島町)

本会議 委員会の 傍聴を しませんか

皆さんが選んだ議員
の活動や行政が今、ど
のようなことを行っ
ているかを知っていただ
くために、本会議など
の議会の傍聴をしま
せんか。
どなたでも傍聴でき
ます。
お気軽にお越しくだ
さい。

TEL 22-2241

庁舎統合特別委員会

審査続報

なります。

次に、統合により空き
庁舎となる川島庁舎・山
川庁舎の利活用について
は、幼稚園及び保育所の
検討委員会で、川島地区、
山川地区では少子化の進
む中、教育環境、保育環
境の観点から、安全性の
高い公共施設を有効活用
すべきとの答申が出され
ていますので、両庁舎を

審査の過程で、用地を
広く購入することで、防
災訓練、避難場所等に利
用するなど市民の方々に
有効活用していただける
スペースの確保をするべ
きであるとのこと、建
設用地、駐車場、進入路
で約10000㎡を確保
することとなりました。
増築棟の配置等につい
ては、今後の検討課題と
なります。

本委員会としては、行
政改革の進展により、庁
舎統合を進めているのだ
から、住民サービスの低
下を招かないように、計
画等々の審査をしていき
ます。

市民のページ

日本の未来に 希望を繋げよう

鳴島町 稲井清美

2009年、年末の新聞記事に胸が痛みました。徳島労働局と県が主催する年末緊急相談窓口は、2日間で161人が訪れたという。おそらくこの相談窓口の情報が入った求職者や生活困窮者は、県下でひとにぎりしかいないだろうと推測すると、県下でそして全国でいったいどれだけの人が、日々の生活に不安を抱えているのでしょうか。そしてその人たちは、どんな年末・年始を送ったのでしょうか。

この冬は、例年よりも寒く、時折り雪が舞っています。洗濯物を軒先に干していると手が悴んで動かなくなりました。マ

ツチ売りの少女を思い出して、手に息を吹きかけてみたけれど息も冷たく全く効果がありません。ふとホームレスの人たちは、この冬をどう乗り切るのだろうかと思いました。

戦後日本は、経済成長を迎え、工場はとも活気があり町には人が溢れていました。大人は忙しく、子どもの面倒を見る余裕などありません。子ども同士で助け合い、また近所の人たちに助けられました。

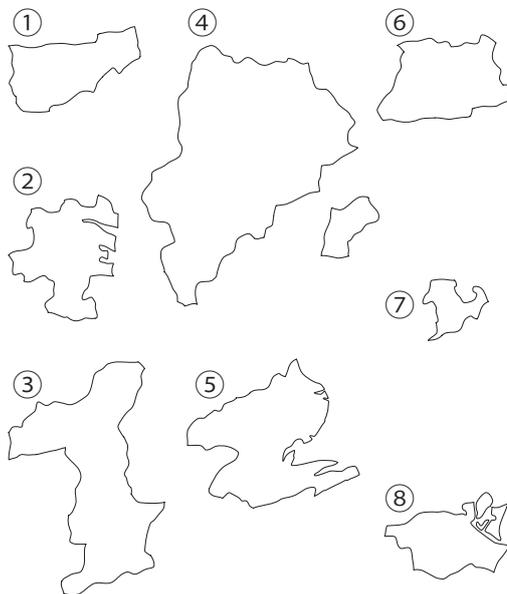
日本の技術は世界に認められ、MADE IN JAPANはブランドのようなものでした。子どもながらにもそれがと

てもかっこよく響きました。しかし現在、日本製のものあまり見かけなくなりました。先人たちが苦勞をして培ってきた技術やプライドは、どこへ行ってしまったのでしょうか。

また、日本の製造業者は、海外からの安価な商品の流通で、会社存続の危機に陥っています。外国人を雇用し給料の高い日本人を解雇へ追いやります。農作物まで輸入品。また、最近では介護士など医療関係にも外国人を参入。日本人は、どこで働けば良いのでしょうか。此処は日本国。外国人が働いて日本人が職に就けず、ホームレスや自殺者が増えるという不条理。不景気は少子化に拍車をかけます。悪循環の連鎖です。子どもたちの未来に希望を繋げるように日本を立て直さなければいけません。

クイズ?

徳島県8市の地形です。①～⑧は何市でしょう。



◎ 正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。

◎ 応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

◎ 応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか？次号で紹介します。

◎ 送り先／〒776-8611 吉野川市鳴島町鳴島115番地1
TEL0883-22-2241 FAX0883-22-2242
◎ 締め切り日／平成22年4月9日（消印有効）

チョットひと言

- ◇ お魚好きなので、解きました。（鳴島町 井上さま）
- ◇ 毎回楽しみにしています。脳トレにちょうどいいですね。日常あまり使われていない漢字なので辞典で確認しています。（鳴島町 岡田さま）
- ◇ 今回は主人の湯呑みが力を貸してくれました。（山川町 工藤さま）
- ◇ わいわいがやがや大騒ぎクイズにはまりそうです。（山川町 佃さま）
- ◇ 孫と楽しく一緒に考えました。（鳴島町 渡部さま）

◎ (前回の回答)

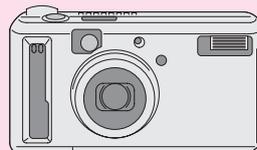
- ① このしろ
 - ② さわら
 - ③ ぶり
 - ④ ひらめ
 - ⑤ かれい
 - ⑥ あんこう
 - ⑦ なまこ
 - ⑧ ふぐ
- 応募総数は66通でした。

募 集 要 項

- テ ー マ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など
- 規 定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成22年4月9日（消印有効）
発行は5月です。季節感のあるものをお願いします。
- そ の 他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応 募 先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

募

集



表紙の写真

市民の皆さんの
声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

…規定…

- 4000字詰原稿用紙2枚以内
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記
(匿名希望の場合も)

- 締め切り

平成22年4月9日（消印有効）
*投稿多数等で掲載できない場合は、ご容赦
ください。校正等は、吉野川市議会広報特
別委員会で行います。

…あて先…

〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL 0883-22-2241
FAX 0883-22-2242

宇宙で「ゴミ問題」が深刻化？
我が街は大丈夫？

宇宙で「ゴミ問題」が起こっています。
老朽化した人工衛星の
ような巨大なものから、
豆粒のような小さなもの
まで、宇宙空間には人工
物が数多く浮遊している
そうです。

こうした宇宙のゴミを「スペースデブリ」と言います。広大な宇宙空間
なのだから多少のスペース
デブリなら問題なさそ
うですが、直径10センチ
以上の比較的大きいもの
だけでも10000個近
くが確認されています。
こうしたゴミが地球周
回軌道の上を回り続けて
いて、しかも、その速度
は秒速10キロメートルだ
そうです。

これらのデブリ（破片）
がロケットや衛星に衝突
する可能性は決して低く
ないと言われています。

直径10センチ程度のデブリが衝突すればロケットや衛星などに致命的な被害を与えると推測されています。

2007年1月、中国が弾道ミサイルを使って老朽化した人工衛星を撃ち落とす実験を行いました。その結果、10センチ以上のデブリだけでも500個以上が誕生したことがわかっていました。各国は一齐に中国を非難。宇宙における軍拡競争への懸念を表明するとともに、スペースデブリの増加に警鐘を鳴らしました。

こうした批判に配慮したのか、中国国防相は「今後、実施する考えはない」と表明しています。
地球でも宇宙でもゴミのポイ捨てはいけません。

ポイ捨てや不法投棄のない美しい街でありたいですね。

相原 一永



あとがき

